

## 智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 城平 守朗

0858-75-6600

### 閲覧資料

- 定 款（平成30年7月1日現在）…………… 1P～4P
- 役員名簿（平成30年11月16日現在）… 5P
- 事業報告（平成29年度分）…………… 6P～11P
- 貸借対照表（平成29年度分）…………… 12P
- 損益計算書（平成29年度分）…………… 12P
- 株主資本等変動計算書（平成29年度分）…… 13P

## ○定 款

### 第1章 総 則

(商号)

第1条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- (1) 地方鉄道業
- (2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業
- (3) 旅行業
- (4) 広告業
- (5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売
- (6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき
- (7) 酒類及びたばこの販売
- (8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第3条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第4条 当社の公告は、電子公告とする。

<http://www.chizukyu.co.jp>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、官報に掲載する。

### 第2章 株 式

(発行する株式の総数)

第5条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式1株の金額)

第6条 当社の発行する額面株式の1株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第7条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1株券、10株券及び100株券の3種類とする。

(株式の譲渡制限)

第8条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければならない。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで

株主名簿の記載の変更を停止する。

- 2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

### 第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

### 第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

- 2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

- 2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数で行う。
- 3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

- 2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。
- 3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当会社が取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

2 当会社の業務は取締役社長が統括し、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

3 当会社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選出した場合においては、各自当会社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は、取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

## 第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(平成30年11月16日現在)

取締役会長	ひらい しんじ 平井 伸治	取締役	はぎわら せいじ 萩原 誠司
取締役副会長	あらかい かずあき 荒木 一聡		あんざこ のりあき 庵造 典章
	きくち よしのぶ 菊池 善信		とみやま ゆたか 遠山 寛
代表取締役社長	じょうひら もりあき 城平 守朗		すぎはら のぶはる 杉原 伸治
代表取締役常務	まつもと しゅんいち 松本 俊一		あきやま まこと 穂山 誠
取締役	ふかざわ よしひこ 深澤 義彦	監査役	まるやま あきのり 丸山 明則
	よしだ ひでと 吉田 英人		
	てらたにせいいちろう 寺谷誠一郎		いしだこうたろう 石田耕太郎
	あおき ひでき 青木 秀樹		ふくい ますみ 福井 真澄

○第32期（平成29年度）事業報告

I. 営業の概況

1 営業の概要及び成果

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取組み、無事故で終了いたしました。

特急列車の利用状況は、7月から10月にかけて発生した台風や大雨の影響により列車の運休が発生しましたが、ゴールデンウィーク期間を含めて4月から5月にかけてのご利用が好調だったことや、11月に鳥取で開催されたポケモンGOイベントの影響等で、列車別では、「スーパーはくと」が前期比1.5%増の638,622人、「スーパーいなば」は前期比2.0%増の264,701人となり、特急列車全体では前期比1.6%増の903,323人となり、前年を上回ることができました。また、普通列車は、通勤・通学定期者の増加や各種企画きっぷ等の効果もあり前期比13.9%増の272,030人となりました。

収入につきましては、台風や大雨の影響はあったものの、イベント等の影響により好調に推移した特急列車の利用者数に支えられ、旅客運輸収入は前期比2.3%の増、運輸雑収入は車両使用料の増加により前期比1.0%の増となり、営業収益は前期比1.6%（44百万円）増の2,794百万円となりました。費用につきましては、原油価格の上昇に伴う動力費の増加、土木構造物を中心とした安全対策の強化による修繕費の増加、新規設備投資に伴う減価償却費の増加などにより、営業費用は前期比9.7%（229百万円）増の2,581百万円となりました。この結果、当期の営業利益につきましては前期比46.4%（185百万円）減の213百万円、経常利益につきましては前期比51.5%（210百万円）減の198百万円の増収減益となりました。

(1) 列車利用状況（利用状況は車掌調べによる人数） (単位：人、%)

区分	当期	前期	増減数	前期比	主な要因
スーパーはくと	638,622	629,076	9,546	101.5	台風等による運休や昨年 の「鳥取ふっこう割」による 増加の反動での減少があっ たが、鳥取砂丘で行われた ポケモンイベントによる増 加等により前年を上回った
スーパーいなば	264,701	259,593	5,108	102.0	
特急列車計	903,323	888,669	14,654	101.6	
普通列車	272,030	238,930	33,100	113.9	

(2) 収支状況

区分	当期	前期	増減額	前期比	主な要因	
主な収入	旅客運輸収入	1,392,468	1,361,720	30,748	102.3	乗車人員の増
	運輸雑収入	1,401,577	1,388,168	13,409	101.0	受取車両使用料の増
営業収益計	2,794,045	2,749,888	44,157	101.6		
主な費用	修繕費	948,005	826,965	121,040	114.6	構造物他修繕の増
	動力費	260,498	191,796	68,702	135.8	原油価格の増
	減価償却費	438,389	378,489	59,900	115.8	車両他投資の増
営業費用計	2,581,003	2,352,142	228,861	109.7		
営業利益	213,042	397,746	△184,704	53.6		
経常利益	197,545	407,480	△209,935	48.5		

### (3) ダイヤ改正の実施

平成30年春のダイヤ改正を3月17日に実施し、4月に大原駅近くに開校された専門学校や沿線の高校なども含めた通学を考慮した列車ダイヤの編成や、大原駅で乗り継ぎとなる一部の列車の運行区間を見直し、利便性の向上を図りました。

### (4) 安全対策等の実施状況

安全対策につきましては、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする職場風土の構築に向けて安全を更に確かなものとするため、様々な訓練や勉強会の実施などにより、関係法令等の理解と遵守を深めました。

鉄道固有の知識、技術・技能の維持・向上を図るため、外部研修等の受講並びに社内における年間を通じた教育計画に基づく勉強会、異常時対応訓練等の実施及びJR、警察署、消防署との合同の異常時対応訓練の実施、美作市の総合防災訓練への参加を行いました。また、土木構造物、信号設備及び車両の修繕並びにスーパーはくとの接客設備の改造など、中期経営計画の投資・修繕計画に沿って安全で快適な乗り心地の提供に取り組みました。

#### [主な修繕の状況]

主な発注工事		発注金額
線路	高架橋修繕工事(小股・尾見・佐用～平福間)	87,871千円
	トンネル修繕(智頭トンネル・大原～西栗倉間他)	21,597千円
	レール更換(佐用～平福間・平福～智頭間)	28,468千円
	路盤コンクリート修繕(智頭トンネル他)	48,467千円
	小計	186,403千円
車両	鉄道車両の検査費用及び修繕費	645,342千円
	小計	645,342千円
	合計	831,745千円

#### [主な設備投資の状況]

主な発注工事		発注金額
線路	落石防護柵新設	10,564千円
	小計	10,564千円
電路	自動列車停止装置更新(あわくら温泉駅・恋山形駅)	71,199千円
	小計	71,199千円
車両	指定席化改造工事(自由席仕様の特急車両7両)	152,037千円
	車内情報表示器更新(特急車両34両)	55,128千円
	AV装置更新(特急車両34両)	45,450千円
	クーラー更新(特急車両2両)	40,999千円
	液体変速機更新(特急車両用6台)	31,478千円
	自動放送装置更新(特急車両8両)	16,000千円
	小計	341,092千円
	合計	422,855千円

### (5) 企画きっぷの発売状況

「東京往復割引きっぷ」、「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」、「岡山往復割引きっぷ」の発売状況は、東京・京阪神方面は前期比7.6%、広島・岡山方面は同7.3%の増加となりました。

智頭線が利用可能なインバウンド向け商品のJR-WEST RAIL PASSにつきましては、山陽・山陰エリアパスは前年同時期との比較で4.6%減少しましたが、新たに7月から同エリアを含む山陽・山陰・北部九州パスが発売され、今後ご利用の増加が見込まれます。また、外国人旅行者が年々増加している影響などで、山陰・岡山エリアパスは91.7%増となりました。

京阪神、岡山、広島方面からの誘客を図るため、駅プラン「かにカニ日帰りエクスプレス」をご利用のお客様に、引き続き日本海の干物セットをプレゼントする企画を実施しました。智頭急行独自の企画きっぷとしまして、定期券と同時に使用できます「定期券用自由席回数特急券」は前期比44.7%増となり、新たに7月から普通乗車券・普通回数券と同時に使用できます「自由席回数特急券」を発売するなど、利用者の増加を図りました。

普通列車につきましては、利用者拡大に向けて駅窓口等での広報・宣伝に努めてまいりました。普通列車の車内でも発売しています「智頭線1日フリーきっぷ」は前期比0.2%減とほぼ前年並みでしたが、シニア向け「楽ラクきっぷ」は32.5%、運転免許返納者向け「優ユウきっぷ」は39.1%の増となり、特に2人で利用する「普通列車ペアきっぷ」は145.2%増と倍以上のご利用がありました。また、引き続き観光バスと連携した「ちょい乗り」に取り組むなど、利用者の増加を図りました。

〔企画きっぷの発売実績〕

通年発売の各往復割引きっぷは、東京往復割引きっぷの他は前期と比較して発売が増加しました。

①特急列車関連

ア. JR西日本と共同

(ア)従来の特典企画切符

(対前期比)

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	
東京往復割引きっぷ	1,065枚 (106.5%)	1,205枚 (85.5%)	1,242枚 (111.1%)	1,453枚 (91.4%)	4,965枚 (97.0%)	△152枚
京阪神往復割引きっぷ	13,293枚 (106.8%)	14,166枚 (105.4%)	15,079枚 (114.9%)	13,978枚 (107.5%)	56,516枚 (108.7%)	+4,505枚
広島往復割引きっぷ	5,442枚 (105.1%)	5,481枚 (105.0%)	5,516枚 (108.9%)	5,144枚 (109.3%)	21,583枚 (107.0%)	+1,413枚
岡山往復割引きっぷ	4,603枚 (108.9%)	4,963枚 (105.3%)	5,018枚 (112.7%)	4,952枚 (104.4%)	19,536枚 (107.7%)	+1,401枚

※上記の割引きっぷ（東京往復以外）は、平成29年4月よりインターネット予約ができるようになりましたが、その予約分も含まれています。

(イ)USJ関係きっぷ

商品名	発売枚数	利用期間	販売額(JR線+智頭線) ( )は智頭急行分の収入	付記
USJエクスプレス・バスきっぷ	249枚	4月21日～ 3月31日	大人23,700～24,200円 (2,230～2,300円) 小児15,820～16,320円 (1,030～1,050円)	スーパーはくと往復+USJ 入場引換券+エクスプレス・バス4スタンダード引換券

(ウ)外国人旅行者向け企画切符

(対前年の同時期との比較)

商品名	発売枚数	利用期間	販売額(JR線+智頭線) ( )は智頭急行分の収入	付記
山陽・山陰・北部九州バス	2,626枚	有効期間 7日間	大人23,000円 (50円) 小児11,500円 (25円) ※海外発売 大人22,000円 (50円) 小児11,000円 (25円)	7月1日から発売 JR西日本の京阪神・中国エリア(智頭急行を含む)とJR九州の北部九州エリアが利用できる。
山陽・山陰エリアバス	21,262枚 (97.2%)	有効期間 7日間	大人20,000円 (20円) 小児10,000円 (10円) ※海外発売 大人19,000円 (20円) 小児9,500円 (10円)	JR西日本の京阪神・中国エリア(智頭急行を含む)が利用できる。
山陰・岡山エリアバス	12,250枚 (191.7%)	有効期間 4日間	大人5,000円 (100円) 小児2,500円 (50円) ※海外発売 大人4,500円 (100円) 小児2,250円 (50円)	JR西日本の山陰・岡山エリア(智頭急行を含む)が利用できる。

## (エ) 駅プラン

商品名	発売枚数	利用期間	販売額(JR線+智頭線) ( )は智頭急行分の収入	付記
かにカニ日帰り エキスプレス	7,036枚 (100.8%)	11月7日 ～ 3月21日 (12月29日 ～1月4日を 除く)	「京阪神地区発」 大人10,300～20,300円 (2,650～3,350円) 小児5,250～11,350円 (1,330～1,680円) 「広島・岡山地区発」 大人12,300～16,180円 (2,550円) 小児 6,250～8,190円 (1,330円)	「京阪神地区発」 スーパーはくと往復+昼食 (鳥取、三朝温泉、はわい 温泉) 「広島・岡山地区発」 スーパーいなば往復+昼食 (鳥取、浜坂)

## (オ) その他

商品名	発売枚数	利用期間	販売額(JR線+智頭線) ( )は智頭急行分の収入	付記
おとなびパス	24,593枚	5月9日～ 7月13日、12 月1日～12月 21日、1月16 日～3月9日の 連続する3日 間	普通車用18,000円 グリーン車用22,000円 (20円) 12月以降 普通車用20,000円 グリーン車用24,000円 (20円)	おとなび会員限定(50歳以 上) JR西日本全線(山陽新幹 線・北陸新幹線・特急含む)、 智頭急行線全線(特急含む) 並びにJR西日本宮島フェ リーに自由に乗り降りでき る。
元日・JR西日 本乗り放題きつ ぷ	8,154枚	平成30年 1月1日	普通車用 大人16,000円(20円) 小児 3,000円(10円) グリーン車用 大人18,000円(20円) 小児 5,000円(10円)	JR西日本全線(山陽新幹 線・北陸新幹線・特急含む)、 智頭急行線全線(特急含む) 並びにJR西日本宮島フェ リーに自由に乗り降りでき る。

イ. 智頭急行独自  
企画切符

(対前期比)

商品名	発売枚数	利用期間	販売額	付記
定期券用自由席 回数特急券	767冊 (144.7%)	通年	自由席特急券420円を1枚 200円 5枚綴り1,000円	定期券をご利用のお客様
(新規) 自由席回数特急 券	101冊	7月3日 から通年	自由席特急券420円を1枚 300円 5枚綴り1,500円	普通乗車券・普通回数券を ご利用のお客様

## ② 普通列車関連

(対前期比)

商品名	発売枚数	利用期間	販売額	付記
智頭線 1日フリーきっぷ	7,490枚 (99.8%)	土・日・祝日 7/1～9/30 12/10～1/10 3/1～4/10	大人 1,200円 小児 600円	普通列車に限り1日乗り放 題(自由席特急券を購入 すれば特急列車自由席利 用可)
楽ラクきっぷ	102冊 (132.5%)	通年	2,500円 (100円券・33枚綴り)	70歳以上の方で、普通列 車に限り使用
特殊回数乗車券	52冊 (59.8%)	通年	3,000円 (100円券・33枚綴り)	普通列車に限り使用
優ユウきっぷ	64冊 (139.1%)	通年	1,500円 (100円券・33枚綴り)	運転免許証返納者の方で、 普通列車に限り使用
普通列車ペアきっぷ	559枚 (245.2%)	通年	2,000円 (2名で2,000円)	2名が同時に同一行程で使 用 2日間有効

## (6) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

特急列車の利用促進につきましては、JR主要駅での広報宣伝看板の設置やJR、自治体等と連携して、京都・大阪・三ノ宮や相生などの京阪神方面や岡山駅でのキャラバン・PR活動、姫路駅でのイベントを実施し、多くのお客様に「かに」や「温泉」、「スーパーはくと」の魅力を実感していただきました。

また、H30年7月～9月に山陰DC(デスティネーションキャンペーン)が実施されること

に伴い、H29年7月～9月にプレDCが実施され、JRと連携した企画きっぷ(山陰ゆめぐりパス)の設定、大阪駅でのDCキャンペーンの実施など山陰への誘客に取り組んでまいりました。

普通列車につきましても、「風鈴列車」、「クリスマス列車」など四季折々の装飾列車や、「ハロウィン列車」、「恋チョコおもちゃトレイン」、3月18日に外装のリニューアルを行いましたイベント列車「あまつぼし」を使用した「サイクルトレイン」などのイベント列車や、沿線自治体と連携した臨時列車の運行、更には利用促進や地域の活性化に資するよう沿線のイベント等に積極的に参加し、一層のPR活動を行うなど地域の皆さんに智頭線を知って、親しんで、乗っていただく取組みを進めました。

## 2 会社に対処すべき課題

- (1) 鉄道運転事故防止の強化
- (2) 鉄道施設や車両の経年老朽化対策
- (3) 知識、技術・技能の向上と継承
- (4) 特急列車の利用促進  
JR等と連携し、観光客誘致に向けた各種企画きっぷの新設と充実
- (5) 普通列車の利用促進  
沿線市町村等との連携による普通列車の利用促進と域外からの観光客誘客
- (6) 普通列車の運行のあり方

## 3 営業成績及び財産状況の推移

区 分	第29期	第30期	第31期	第32期(今期)
営業収益(千円)	2,753,866	2,777,428	2,749,888	2,794,045
当期純利益(千円)	254,626	282,319	271,163	152,224
1株当たり当期純利益(円)	28,291.74	31,368.79	30,129.25	16,913.81
資産合計(千円)	5,574,511	5,718,758	6,078,244	5,956,445

## Ⅱ. 会社の概況（平成30年3月31日現在）

### 1. 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

### 2. 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭  
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭  
大原事業所 岡山県美作市古町

### 3. 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ① 会社が発行する株式の総数     | 20,000株 |
| ② 発行済株式の総数（額面普通株式） | 9,000株  |
| ③ 1株の金額            | 50,000円 |
| ④ 株主総数             | 45名     |
| ⑤ 株主               | 別掲のとおり  |

なお、当社の大株主への出資はありません。

### 4. 社員の状況

	社員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年月)
総務部	6	0	41.2	17年0ヶ月
運輸部	65	△1	40.7	15年3ヶ月
合計	71	△1	40.7	15年4ヶ月

※常勤役員（2人）、契約社員（6人）を除く

○貸借対照表

[平成30年3月31日現在]

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部	5,956,445	負債の部	477,500
流動資産	3,326,370	流動負債	358,190
固定資産	2,626,241	固定負債	119,310
有形固定資産	2,592,528	純資産の部	5,478,945
無形固定資産	13,743	資本金	450,000
投資等	19,970	利益剰余金	5,028,945
繰延資産	3,834		
資産合計	5,956,445	負債・純資産合計	5,956,445

○損益計算書

[平成29年4月1日から平成30年3月31日まで]

(単位：千円)

科目		金額
経常 損益 の 部	鉄道事業営業利益	
	営業損益の部	
	営業収益	2,794,045
	営業費	2,581,003
	鉄道事業営業利益	213,042
	営業外損益の部	
	営業外収益	17,016
	営業外費用	32,513
	経常利益	197,545
特別 損益 の 部	特別利益	
	固定資産売却益	4,414
	その他の特別利益	41,712
	特別損失	
	固定資産除去損	2,833
	固定資産圧縮損	26,602
税引前当期利益		214,236
法人税等		62,012
当期純利益		152,224

○株主資本等変動計算書

[平成29年4月1日から平成30年3月31日まで]

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本 合計	
		利益準備金	別途積立金	固定資産圧縮 積立金	繰越 利益剰余金		
前期末残高	450,000	2,700	2,560,000	2,040,000	274,021	5,326,721	5,326,721
当期変動額							
剰余金の配当							
剰余金の配当に伴う 利益剰余金の積立							
積立金の積立			140,000	130,000	△270,000		
当期純利益					152,224	152,224	152,224
当期変動額合計			140,000	130,000	△117,776	152,224	152,224
当期末残高	450,000	2,700	2,700,000	2,170,000	156,245	5,478,945	5,478,945